

読書バリアフリー計画（案）に係るパブリック・コメントの結果について

意見募集期間：令和5年10月2日（月）から11月1日（水）まで

意見数：4

頁	箇所	意見概要	県の考え方
7	<p>Ⅲ 施策の方向性 2 インターネットを利用したサービスの提供体制の強化</p>	<p>2行目 ～表現の認識が困難な者も利用できることも含め～ → 者よりも方という表現の方が優しく感じる。</p>	<p>御意見を踏まえ、他の箇所も修正いたします。 ※ ただし、VI用語集については、言葉の説明のため、そのまま。</p> <p>P 2 4 計画の対象 ～困難を伴う方へも配慮します。</p> <p>P 4 2 アクセシブルな書籍等の量的拡充・質の向上 ～製作に従事する方の研修が必要です。</p> <p>P 7 カ 3行目 ～視覚障害者以外の視覚による表現の認識が困難な方の読書環境の～</p> <p>P 7 2 (1) 2行目 ～視覚障害者だけでなく視覚による表現の認識が困難な方も利用できることも含め～</p>
11	<p>Ⅳ おわりに 1～2行目</p>	<p>「読書に親しめるような環境を整備するため」という表現は、「読書に親しめるよう、環境を整備するため」にしてはどうか。</p>	<p>ここでは「読書に親しめるような環境」を整備するという意味をもたせたいため、素案のままの表現にいたします。</p>
11	<p>Ⅳ おわりに</p>	<p>「障害の有無に関わらず」という表現がとても素晴らしい。 ・「第5次推進計画」にも反映されていた。 ・県を含めて、行政が縦割りではなく、関係課係と横断的に推進できるよう、研修内容に含めて欲しい。</p>	<p>御意見を踏まえ、関係課、係と学校と連携して推進できるよう、研修会等で説明いたします。</p>
12	<p>Ⅴ 具体的な指標</p>	<p>単位が気になる。</p>	<p>指標の目標値に単位を挿入します。</p> <p>1 利用体制の整備</p> <p>鹿児島県立図書館のアクセシブルな書籍等（冊）</p> <p>学校図書館及び公立図書館（室）における読書バリアフリーコーナーの設置等（％） 設置校 100 設置館（室）100</p> <p>鹿児島県視聴覚障害者情報センターの利用登録者数（人） 831 850</p> <p>2 提供体制の強化</p> <p>サビエ会員（個人会員）の登録者数（人） 288</p> <p>3 製作支援</p> <p>サビエ図書館への年間ダウンロード数（タイトル数）</p> <p>5 人材育成</p> <p>鹿児島県視聴覚障害者情報センターの点訳・音訳ボランティアの数（人） 169 180</p> <p>図書館職員等への読書バリアフリー研修会の年間受講者数（人） 50</p> <p>6 総合</p> <p>読書バリアフリー推進計画の策定市町村数 20</p>